



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月12日

上場会社名 株式会社ストリームメディアコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 4772 URL https://www.streammedia.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 官鎔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 山田 政彦 TEL 03-6809-6118
 四半期報告書提出予定日 2020年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,236	△35.1	△2	—	△3	—	0	—
2019年12月期第1四半期	1,904	50.9	△5	—	△4	—	△7	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	0.01	—
2019年12月期第1四半期	△0.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	4,983	4,254	84.1	253.75
2019年12月期	5,190	4,248	80.7	253.75

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 4,189百万円 2019年12月期 4,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△5.1	41	△42.5	42	△43.0	26	—	1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	16,520,351株	2019年12月期	16,520,351株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	9,351株	2019年12月期	9,351株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	16,511,000株	2019年12月期 1 Q	16,511,152株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、ヨーロッパやアジア新興国等の経済の先行き、米中を中心とした貿易摩擦の動向など、海外経済の不確実性が高まる中、足下では新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、インバウンドの減少や国内消費も広く抑制されるなど、経済活動の停滞による景気の減速懸念は一層高まっています。

当事業を取り巻く環境といたしましては、CS放送の契約者数は依然として減少傾向にある一方で、OTT(ネット配信による動画配信)の拡大や、地上波とインターネット上での同時配信の実施など、ユーザーの嗜好性とライフスタイルの変化に応じた多様なサービスが展開されており、新型コロナウイルスによる外出自粛やイベントの中止が続く中、こうしたサービスへの注目度は更に高まっています。

このような経営環境の中、当社の当第1四半期累計期間においては、ライツ&メディアコミュニケーション事業では、イベント案件はなかったものの、引き続き版權事業が順調に推移いたしました。また放送事業では、自社テレビ局KNTV・DATVとリニア配信Kchan!韓流TVの韓流3チャンネル運営体制により、視聴者獲得を図ってまいりました。

利益面では、放送事業において番組償却費用などコストが高んだこともあり、この結果、当第1四半期累計期間の売上高12億36百万円(前年同期比35.1%減)、営業損失2百万円(前年同期は営業損失5百万円)、経常損失3百万円(前年同期は経常損失4百万円)、四半期純利益0百万円(前年同期は四半期純損失7百万円)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(ライツ&メディアコミュニケーション事業)

イベント・マネジメント事業では、当第1四半期累計期間にはイベント案件がなかったものの、ファンクラブ事業では、ECサイトをリニューアルオープンした他、ファンクラブサイトも新たに2件オープンするなど、更なる事業拡大を図ってまいりましたが、大型案件のFCサイトの終了に伴う影響は補填しきれませんでした。版權事業では、前事業年度に引き続き大型ドラマ版權の自社テレビ局KNTV、DATVでの放送をはじめ、CS・BSでの放送が続々決定しており、DVD・VOD化事業も順調に推移しております。

この結果、売上高は7億27百万円(前年同期比42.9%減)、セグメント利益は68百万円(前年同期比33.3%減)となっております。

(放送事業)

放送事業では、自社テレビ局KNTV・DATVとリニア配信Kchan!韓流TVの韓流3チャンネル運営体制により、継続的な視聴料収入の安定化と販路拡大を図ってまいりました。

KNTVでは、豪華俳優競演の超大型時代劇『私の国(原題)』や日本の傑作医療小説をリメイクした『医師ヨハン(原題)』、東方神起チャンミン出演の教養バラエティ『東方神起チャンミンの糧食の良識』など韓国の人気ドラマ・バラエティを日本初放送しました。DATVでは、中国最大のレビューサイトで2019年上半年1位を獲得した『あったかいロマンス』、新感覚のメディカル捜査韓国ドラマ『ドクター探偵(原題)』など、華流・韓流の話題作を日本初放送しました。またKchan!韓流TVでは、毎月韓国ソウルから注目のネクストブレイクアイドル達のステージを生中継でお届けする音楽番組『Power of K Lab7』など、オリジナルコンテンツの配信も行いました。

利益面については、話題作集中放送に伴い番組償却費用が増加したこと、Kchan!韓流TVのオリジナル番組製作費用などコストが高んだ結果、売上高は5億28百万円(前年同期比21.9%減)、セグメント利益は20百万円(前年同期比1.3%減)となっております。

(その他事業)

その他事業では、売上高は0百万円(前年同期は売上高1百万円)、セグメント利益は0百万円(前年同期はセグメント損失0百万円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は49億83百万円となり、前事業年度末に比べ2億7百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が3億13百万円増加、コンテンツ事業権が2億68百万円減少、及び前渡金が1億90百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は7億28百万円となり、前事業年度末に比べ2億13百万円減少いたしました。その主な要因は、買掛金が2億46百万円減少、前受金が66百万円増加、及び流動負債のその他が32百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は42億54百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円増加いたしました。その主な要因は、新株予約権が6百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が通期の業績に影響を及ぼす可能性があります。当第1四半期累計期間における業績に与える影響は軽微でありますことから、2020年2月14日に発表した予想値を据え置きます。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	952,532	1,266,067
売掛金	488,017	464,207
商品	2,355	58
番組勘定	754,507	704,750
コンテンツ事業権	1,744,289	1,476,123
貯蔵品	110	110
前渡金	794,051	603,224
その他	40,718	67,213
貸倒引当金	△1,943	△1,951
流動資産合計	4,774,639	4,579,804
固定資産		
有形固定資産	80,113	74,697
無形固定資産	108,805	105,437
投資その他の資産		
投資有価証券	39,731	39,731
関係会社株式	1,000	1,000
その他	289,414	285,663
貸倒引当金	△102,948	△102,939
投資その他の資産合計	227,196	223,455
固定資産合計	416,115	403,590
資産合計	5,190,755	4,983,394
負債の部		
流動負債		
買掛金	429,345	182,767
前受金	254,557	321,212
その他	236,834	204,386
流動負債合計	920,737	708,365
固定負債	21,772	20,386
負債合計	942,510	728,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,591,492	4,591,492
資本剰余金	1,825,566	1,825,566
利益剰余金	△2,194,468	△2,194,350
自己株式	△33,002	△33,002
株主資本合計	4,189,587	4,189,705
新株予約権	58,657	64,936
純資産合計	4,248,245	4,254,642
負債純資産合計	5,190,755	4,983,394

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,904,060	1,236,554
売上原価	1,610,613	1,005,496
売上総利益	293,447	231,057
販売費及び一般管理費	299,147	233,923
営業損失(△)	△5,699	△2,865
営業外収益		
受取利息	591	543
為替差益	17	—
還付加算金	492	—
その他	121	169
営業外収益合計	1,222	713
営業外費用		
支払利息	235	166
為替差損	—	1,255
その他	0	5
営業外費用合計	235	1,427
経常損失(△)	△4,713	△3,579
特別利益		
新株予約権戻入益	—	4,858
特別利益合計	—	4,858
特別損失		
固定資産除却損	107	—
減損損失	1,375	—
その他	168	—
特別損失合計	1,650	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,364	1,279
法人税、住民税及び事業税	997	1,161
法人税等合計	997	1,161
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,361	117

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ライツ&メディア コミュニケーション	放送	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,225,518	676,699	1,902,218	1,842	1,904,060
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	49,474	—	49,474	—	49,474
計	1,274,992	676,699	1,951,692	1,842	1,953,534
セグメント利益又は損失(△)	102,673	20,561	123,234	△102	123,132

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	123,234
「その他」の区分の利益	△102
全社費用(注)	△128,831
四半期損益計算書の営業損失(△)	△5,699

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれん)の金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ライツ&メディア コミュニケーション	放送	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	709,845	526,708	1,236,554	0	1,236,554
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	17,631	1,527	19,159	—	19,159
計	727,476	528,236	1,255,713	0	1,255,713
セグメント利益	68,471	20,300	88,772	0	88,772

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	88,772
「その他」の区分の利益	0
全社費用(注)	△91,638
四半期損益計算書の営業損失(△)	△2,865

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。